



令和2年度  
杉並区立松溪中学校

S H O U  
K E I

松溪だより

1月号



<http://www.suginami->

教育目標

- 自学・自立
- 思いやり・感謝
- 鍛 錬

本年もよろしくお願いたしますー前に進む力を！ー

校長 辻 成一郎

新しい年を迎えました。本年もよろしくお願いたします。

新年早々、新型コロナ感染と入院で、ご迷惑をおかけいたしました。校内で濃厚接触者を出さず、無事、復帰することができてほっとしております。

そして、入院生活の中で、いくつか感じたことがあります。

まずは、日本の医療の素晴らしさです。医師や看護師の皆さんの働きは、本当に頭が下がる想いでした。どのような患者でも、一生懸命にできることをする。危険な状況を抱えている患者さんほどこまめに目配りをする。改めて、感動することがたくさんありました。また、コロナの細菌を直接殺す薬は、まだありませんが、肺炎の炎症を抑えて症状を改善させる方法や、糖尿病などの余病のある人への対処方法もある程度確立されていました。

もう一つは、新型コロナウィルスを直接退治する薬がない以上、どんなにステロイド剤や抗生剤を使っても、結局は、コロナに打ち勝とうとする自分の心の強さや身体の回復力が、治癒の成否を決めるということです。

日頃続けていたささやかなトレーニングを、回復したら少しずつ再開しようと強く思いましたし、改めて、前向きに頑張っていく強い心を持ち続けられる人であろうとも思いました。

実は、私の心のありようを作り上げてくれる大きな力になっているのは「読書」です。

読書からいろいろなことを学びました。20代の終わりに出会った先輩や仲間たちと今でも2か月に1回読書会をしています。現在は新型コロナウィルスの感染拡大で、もう半年以上も会が開けていませんが、その先輩の真似をして、読んだ本の記録をつけ、毎年その年読んだ本とベストテンをまとめています。記録は3900冊を超えました。入院中は心が元気になりそうな本を選んで読みましたが、普段は、種々雑多な本を読んでいます。

なぜ「読書」なのか？ 先日、毎日新聞に掲載された千葉県印旛中学校の国語の教師だった宮下豊先生の手記が私の考えとぴったりなので紹介します。

「私は、これまで2年以上にも及ぶ闘病生活の中で、数多くの本を読み、その力に救われました。

これまで大きな病気などしたことのない私にとって、この闘病生活は全くと言っていいほどの未知の体験でした。日々の痛みや苦しみ、言いようのない不安や孤独、恐怖など、不幸のどん底に突き落とされた感がありました。そこでするように読み始めたのが本です。ある日は病室で、ある日は図書館で、もうむさぼるように本を手にして読みふけりました。その力は想像をはるかに超えるものでした。

私は、1つのことに気づきました。読書の最大の魅力は『発見』と『共感』だということです。『発見』とは知らなかったことに会うことです。たとえば坂本龍馬が黒船を見て、その大きさに驚き、西洋の武力の脅威に気づいたようにです。大きな驚きは、大きな力となります。体中に新しい血が流れ始めます。前へ進む原動力となります。『共感』とは自分と同じだと思うことです。たとえば龍馬が勝海舟の考えに賛同し、弟子となったようにです。深い共感も、大きな力となります。体中に自信のエネルギーがあふれてきます。前へ進む原動力となります。

闘病中の読書は『発見』と『共感』の連続でした。本は、確実に1人の友として、私を励まし勇気づけ続けてくれました。くじけそうな私を奇跡のような大きな力で前へ進ませてくれたのです。(以下略) (毎日新聞1月23日朝刊より)

宮下先生は、闘病の後、自分が勤めた印西市と白井市に6000万円を寄付して、昨年9月59歳で亡くなりました。

私は、今年も、体力の衰えをカバーする毎日のささやかなトレーニングに取り組み、『発見』『共感』が自分を成長させ、前に進めてくれると信じて、なかなか果たせない年間100冊の目標を立てて読書に励み、それをエネルギーにして松溪中がさらにいい学校になるように頑張っていこうと思います。

皆さんの今年の目標は何ですか？

新型コロナウィルスの蔓延で思うようにいかないことの多い毎日ですが、どんな夢や目標を持つかは、その人の自由です。目標に向かい、伸びやかに前を向いて進んで行けるそんな一年にしたいものです。



## 令和2年度 『杉並区教育調査・学校評価アンケート』結果

令和2年度「学校評価アンケート」の数値データをお知らせいたします。年末のお忙しい時期、多くの保護者の皆様にご協力いただき、本当にありがとうございました。この「学校評価アンケート」は杉並区教育委員会が実施している教育調査と学校独自のアンケートを合わせたもので、保護者や地域の皆様に学校への理解を深めていただくとともに、生徒を含めた皆様のご意見を来年度の教育計画に反映させ、学校・保護者・地域がより連携・協力しながら、学校の力を高めていきたいと考え、実施しています。

回答の「Aとても思う」と「B思う」の割合を肯定率(%)として数値で表しています。このアンケートの数値データを真摯に受け止め、よりよい教育活動を推進してまいりたいと思います。今後ともよろしくご協力のほどお願い申し上げます。

### 【 生徒集計結果 】

			肯定率
杉並区 教育調査	1	先生は、クラスのみんなが分かり合い、協力し合えるようにしてくれている。	92.6
	2	授業では、自分の得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。	50.7
	3	学校の授業によって、分かることやできることが増えている。	84.6
	4	先生は、授業で自分ができたことを誉めてくれたり、間違えたところを教えてくれたりしている。	72.4
	5	先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。	96.5
	6	先生は、今の授業で学習していることが、前の授業や今後の授業とどのようにつながっているか、教えてくれている。	76.8
	7	道徳の時間では、友達や家族、地域の人たち共によりよく生きることの大切さについて、みんなで話し合っている。	81.8
	8	先生は、健康な生活を送るために必要なことを教えてくれている。	85.0
	9	先生は、地域の人たちと協力しながら、授業や学校行事をよりよくしてくれている。	48.4
			76.5
学習指導について	10	授業の内容はよく理解できる。	82.5
	11	先生は黒板の書き方やプリントなど、わかりやすく指導を工夫している。	86.7
	12	先生は評価について十分に説明してくれる。	76.6
	13	道徳授業の内容は自分の生き方や命の大切さを考えるものになっている。	82.2
			82.0
家庭学習について	14	わたしは自分で課題を見つけて、進んで勉強するようになった。	57.7
	15	家庭学習は毎日おおよそ何時間くらいしていますか。(塾は除く) a 2時間以上    b 1時間～2時間    c 30分～1時間    d 0～30分	49.0
	16	今現在(12月)、「自学ノート」は何冊目ですか。 a 10冊目以上    b 5冊目以上    c 2冊目以上    d 1冊目	24.5
			43.7
生活指導について	17	わたしは自分から挨拶をしている。	82.2
	18	わたしは相手の立場を考え、感謝し、互いに協力し合う関係が作れるように努力している。	77.6
	19	わたしは心や体の健康、安全の確保に気をつけたり、体力が高められる工夫をしている。	69.6
	20	わたしは清掃活動をみんなと協力してしっかり取り組んでいる。	86.7
	21	わたしは学校のきまりをきちんと守っている。	86.7
	22	わたしは4月当時に比べ、生活習慣が身に付き、自立的な生活ができるようになっている。	72.7
			79.3
学校行事について	23	楽しみにしている学校行事がある。	67.0
	24	行事では、みんなが活躍するチャンスがある。	72.5
	25	学年や学級で団結して行事に取り組んでいる。	82.5
			74.0
進路指導について	26	学校は将来の進路や生き方・働くことの意味について考える指導をしてくれている。	77.1
	27	進路について先生と相談する機会は十分ある。	61.8
	28	進路に関する情報を十分提供してくれる。	68.5
			69.1
学校の取り組みについて	29	学校は家庭学習が定着するよう指導している。	61.9
	30	学校は安全な学校生活を送れるよう考えてくれている。	84.3
	31	学校は自分の考えをまとめ、発表する力を育てようとしている。	77.3
			74.5
先生について	32	先生は、熱心に指導してくれる。	79.0
	33	先生は、誰に対しても、公平でひいきをしない。	61.5
	34	先生は、親身になって相談にのってくれる。	60.8
	35	先生は、あなたの良いところや努力したところをほめてくれる。	74.5
			69.0
学校全般について	36	毎日の学校生活が楽しい。	74.0
	37	松溪中学校が好きである。	65.0
			69.5
読書活動について	38	松溪中学校は朝読書に力を入れています。わたしは、よく取り組んでいる。	78.0
	39	わたしは月1冊以上本を読んでいる。	69.8
	40	わたしは図書室を利用している。	63.0
	41	わたしは図書室で本を借りている。	68.4
			69.8

【 保 護 者 集 計 結 果 】

			肯定率
杉並区 教育調査	1	子どもの学校生活は、全体として満足できるものである。	82.4
	2	連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている。	50.6
	3	学校は、自校の教育活動に関する評価結果とそれに基づく改善策等の情報を提供している。	63.9
	4	学校では、子どもが安心・安全な学校生活を送ることができる学級づくりを行っている。	85.0
	5	子どもは、学校の授業を通して、分かることやできることが増えている。	77.7
	6	学校は、子どもの学習状況を適正に評価している。	73.0
	7	学校は、ICT機器（電子黒板やデジタル教科書等）を活用した授業を行っている。	69.5
	8	子どもは、学校での生活を通して、他者と共によりよく生きるための力が育まれている。	80.7
	9	子どもは、学校での生活を通して、体力や食、生活習慣をはじめ健康な生活を送る力が育まれている。	80.7
	10	学校は、子どもたちの発達に関する課題など、障害理解を深める情報を提供している。	50.6
	11	学校は、家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている。	70.4
			71.3
学習指導について	12	子どもにとってわかりやすい授業をしている。	60.1
	13	学校の評価についての説明や情報提供をしている。	62.2
	14	道徳の授業では人の気持ちを考えさせたり、いのちを大切にする心を育てている。	65.7
	15	子どもは自分で課題をみつけ、進んで勉強するようになった。	41.6
	16	お子様の家庭学習は定着している。	44.6
			54.8
生活指導について	17	学校はあいさつの励行やきまりを身に付けさせ、学校生活が向上するように指導している。	71.2
	18	学校はいじめや不登校を解決するために、相談にのったり、話し合ったりしている。	51.9
	19	学校は学校生活が充実し、楽しめるように指導している。	69.1
			64.1
学校行事について	20	子どもが活躍する場面がたくさんあり、内容が充実している。	64.8
	21	子どもは、学校行事に楽しく取り組んでいる。	77.3
			71.0
進路指導について	22	将来の進路や生き方、働くことの意味について考える指導をしている。	60.1
	23	進路について、情報提供があり、相談する機会がある。	55.8
			57.9
学校の取り組みについて	24	学校の教育方針や指導の重点が明確である。	59.7
	25	校長をはじめ教職員が協力して生徒指導を行っている。	70.4
	26	学校は、体験学習・発表会・外部講師の授業など様々な取り組みを行っている。	70.8
			67.0
教職員について	27	先生は、子どもを大切にしてくれる。	80.7
	28	先生は、教育活動に熱心に取り組んでいる。	78.5
	29	先生は、子どもの教育について相談すると熱心に対応してくれる。	73.8
			77.7
学校の安全性について	30	学校は子どもの安全を守るために指導や訓練を行っている。	76.8
	31	子どもの安全確保のための情報を適切に保護者へ提供している。	73.0
	32	学校の施設の安全性は確保されている。	80.7
			76.8
地域との連携について	33	学校は地域の人材や施設を教育活動に活かしている。	57.5
	34	学校は地域の活動や行事に協力している。	59.7
	35	学校は西田小や桃二小との連携を積極的に行っている。	58.4
			58.5
広報活動・情報提供について	36	学校からの様々な通信に、保護者として知りたい情報が盛り込まれている。	69.5
	37	学校は保護者に対し、説明責任を果たし、対応をしてくれている。	68.2
	38	学校公開や保護者会などは、学校を知る機会となっている。	77.7
			71.8
学校全般について	39	子どもは学校生活が楽しいと感じている。また、学校全体に活気がある。	75.1
	40	朝読書など読書活動の取り組みは充実している。	71.7
	41	保護者会に参加したり、行事を参観したりするよう心がけている。	71.7
			72.8
「特別な教科道徳」において、生徒に特に重点的に取り組ませたい内容項目は何だと感じますか。	42	a 自主、自律、自由と責任 b 節度、節制 c 向上心、個性の伸長 d 希望と勇気、克己と強い意志 e 真理の探究、創造	-
	43	a 思いやり、感謝 b 礼儀 c 友情、信頼 d 相互理解、寛容 e 遵法精神、公德心	-
	44	a 公正、公平、社会正義 b 社会参画、公共の精神 c 勤労 d 家族愛、家庭生活の充実 e よりよい学校社会、集団生活の充実	-
	45	a 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 b 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 c 国際理解、国際貢献 d 生命の尊さ e 自然愛護	-
	46	a 感動、畏敬の念 b よりよく生きる喜び	-

今年度はコロナ禍の中で始まった学校生活でした。小学校との連携や、地域との活動や外部講師の方をお呼びしての講演会なども中止にせざるを得ませんでした。運動会においても学年ごとに実施時間帯をずらし、無観客での実施でした。そのような中でも、生徒たちは「やれることをやる」という考えのもと、学校生活を送っていたように感じています。

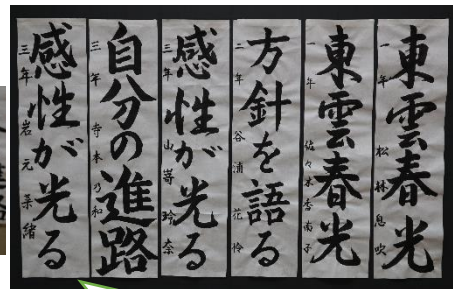
例年通りの学校生活を送ることが不可能になりましたが、「新しい生活様式」の中で、中学校としての在り方を教職員一同が再度、アイデアを出し合い、構築していかなければならないと考えています。

たくさんの自由意見も頂戴いたしました。このご意見を参考にし、次年度に向け、教職員一丸となって改善に取り組んでまいります。保護者の皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



# 教育活動の紹介

## 校内書き初め展



各学年、楷書と行書から選んで書いた書き初めを展示しています。1年生は初めて習う行書にも果敢に挑戦し、2・3年生は今までの学習を生かして作品を仕上げました。新春にふさわしい凛とした字に心が洗われます。

学校代表の6作品です。

## 理科出前授業（1年生：1月15日）



1月15日（金）に済美教育センターから講師を招いて、理科の出前授業（1年生対象）が行われました。テーマは「液体窒素を使った状態変化」です。液体窒素に浸した「アシタバ」の葉は、触ってみるとボロボロに。酸素を閉じ込めた風船を液体窒素に浸し、できあがった液体酸素はほのかな青色に、さらに磁石を近づけると引き寄せられる。液体窒素を用いて日常では経験できない極低温の世界を体験しました。液体窒素を使った実験は、楽しく印象に残り、今後の理科の学習にもプラスになることと思います。

## 1 学年道徳研究授業（1月20日）

1月20日（水）校内研修として道徳の研究授業を実施しました。1学年4クラスが同じテーマで授業を実施し、話し合い活動ができないことから、タブレットを活用し、意見交換を行いました。



授業終了後、日本道徳教育学会所属の駒澤大学総合教育研究部で教鞭をとられている鴨井雅芳先生から、授業の感想及び「これからの道徳授業」というテーマの講演をいただきました。道徳の授業力向上を目指していきます。



コロナ禍において、私立高校推薦が終わり、都立高校推薦が始まりました。3年生の諸君、希望進路実現のため、がんばってください。負けるな！受験生。

- 2月の予定

  - 1日（月）復習確認テスト（2年）
  - 3日（水）専門委員会
  - 4日（木）安全指導、中央委員会
  - 8日（月）生徒集会（リモート）
  - 11日（木）**建国記念日**
  - 12日（金）避難訓練
  - 13日（土）土曜授業（給食あり、5時間授業）  
令和3年度新入生保護者説明会（15：00～）
  - 21日（日）**都立一次（前期）入試**
  - 22日（月）朝礼（リモート）
  - 23日（火）**天皇誕生日**
  - 24日（水）～26日（金）定期考査（3日間）